

(3) 森林の減少



【関連教科】5年生:社会科「森林とともに生きる」／6年生:理科「生き物どうしのかかわり」

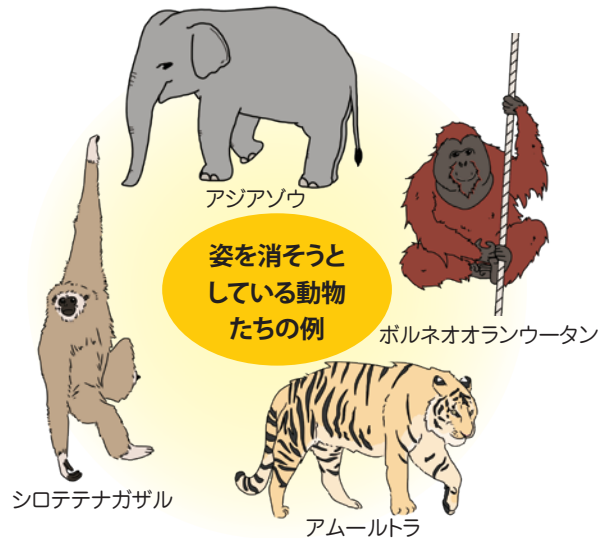
① 地球の野生生物を守る

この数十年の間に、広い面積の熱帯雨林がなくなっています。

熱帯雨林は、地球の陸地の7%位しかありませんが、そこに地球上の生き物の種類の半分以上が住んでいるといわれています。その熱帯雨林が、この数十年の間に、どんどんなくなって、地球のいろいろな所で、多くの生き物たちが絶滅し^{ぜつめつ}そうになっています。人間によって自然がこわされてしまったり、毛皮などを取るために殺されたりしてしまったためです。

現在、絶滅しそうな生き物を「レッドリスト」にまとめ、それらを守ろうとする取組が世界中で行われています。

すがたを消そうとしている動物たちの例



イラスト提供:札幌市円山動物園

② 森林が減少しているのは、なぜ？

森林には、酸素を作り出す働きがある



世界では、この数十年の間、毎年日本の面積の3分の1にあたる広さの森林が失われています。特に南アメリカのアマゾンやアフリカで減少しています。

減り続ける森林



原因

- 森林の伐採^{ばっさい}
- 大規模な森林火災^{きぼ}

森林が減ることで二酸化炭素が
吸収されなくなり…

地球温暖化^{おん だん}がさらに加速する

③ 私たちには、どんなことができるのかな？

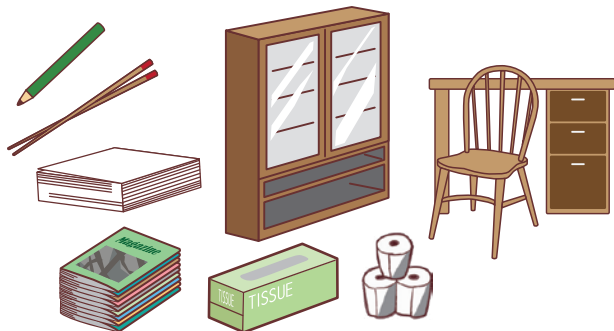
私たちの身の回りには、森林から切った木材を原料としたものがたくさんあります。しかし、こうした日本で使われている木材の多くは海外から輸入されたものです。日本に住んでいる私たちと、世界の森林が減ってきていることとは、深い関わりがあるのです。

外国からの木材の輸入に頼る日本

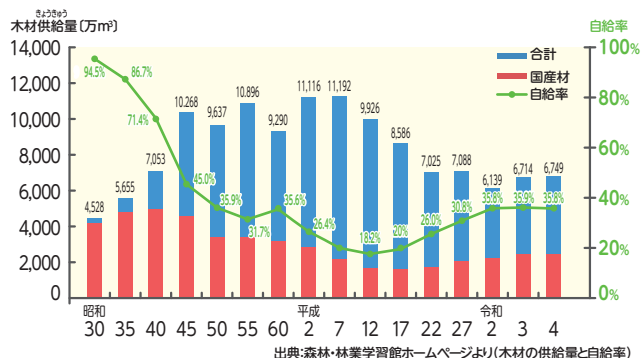
どんどん木材を消費して輸入すると…

輸入相手国の森林が減る

いろいろな木製品



日本の木材自給率



④ 森林を守るためには？

森林を守る取り組みと間伐材の利用

森林は、雨水を貯え洪水を防止したり、土砂の流出や崩壊を防いだりする役割を果たしているほか、私たちの保養の場やさまざまな生物の貴重な生息の場を提供しています。また、二酸化炭素を吸収・貯蓄し、地球温暖化対策に大きく貢献しています。このように、さまざまな役割を果たしている森林を守るためには、以下のような取組が欠かせません。

- ① 人の手によって木を植える植林
- ② 成長過程で過密になった木を伐採する間伐などの森林整備
- ③ 適切に森林管理を行うとともに、効率的な林業経営を進める林道整備

また、最近では間伐材を利用したさまざまな製品が作られています。ペレットストーブの燃料となっているペレットもその一つです。木は成長するときに二酸化炭素を吸収します。その木を原料としてつくられたペレット燃料を燃やして発生した二酸化炭素は、再び木の成長に使われます。このようなサイクルをくり返す間は、大気中の二酸化炭素の量は増えも減りもせず一定量を保つということで、今後の地球温暖化対策に有効といわれています。



木質ペレット

✎ 自分ができることは…。

【例えば】紙の節約・再生紙の利用・日本の間伐材の製品利用